

みずほCustomer Desk Report 2021/12/15号 (As of 2021/12/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.68
TKY 9:00AM	113.58	1.1283	128.14	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.76	1.1324	128.55	1.3210	0.7132
SYD-NY Low	113.43	1.1254	128.00	1.3256	0.7136
NY 5:00 PM	113.75	1.1258	128.04	1.3192	0.7090
				1.3227	0.7106

NY DOW	35,544.18	▲ 106.77	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	15,237.64	▲ 175.64	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	4,634.09	▲ 34.88	米国2年債	0.6558	2.44bp
日経平均	28,432.64	▲ 207.85	米国5年債	1.2329	3.09bp
TOPIX	1,973.81	▲ 4.32	米国10年債	1.4403	2.72bp
シカゴ日経先物	28,355.00	▲ 155.00	独10年債	-0.3660	1.75bp
ロンドンFT	7,218.64	▲ 12.80	英10年債	0.7215	2.90bp
DAX	15,453.56	▲ 168.16	豪10年債	1.5460	▲8.10bp
ハンセン指数	23,635.95	▲ 318.63	USDJPY 1M Vol	6.60	▲0.08%
上海総合	3,661.53	▲ 19.56	USDJPY 3M Vol	6.70	▲0.08%
NY金	1,772.30	▲ 16.00	USDJPY 6M Vol	6.85	0.01%
WTI	70.73	▲ 0.56	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	224.326	▲ 1.03	EURJPY 3M Vol	7.13	▲0.08%
ドルインデックス	96.57	0.25	EURJPY 6M Vol	7.47	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は113.58レベルでオープン。FOMCの開催を控えて様子見ムードが継続。午後に入り、岸田首相が自社株買いについて「ガイドラインに言及したことが警戒され、株価の急落に伴いドル円も一時113.48まで下落する場面が見られたが、終日を通して20銭未満の狭い値幅でのレンジ推移となり、結局オープンと同水準の113.58レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.58レベルでオープン。岸田首相の自社株買いへの発言による下振れから戻す立ち上がりで、一時113.75まで上昇。しかし欧州通貨がその後買い戻される中で、今度は113.48円まで売られ、113.54レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3204レベルでオープン。朝方1.3198まで下落するも同水準は月足の50日線でもあり、そこで反発すると、早朝に発表された英雇用統計が堅調だったこともありポンド買戻しムードに、1.3256まで買われ1.3252レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は113円台半ばでレンジトレード。東京時間では岸田首相の自社株買いの規制を示唆する発言を受けて一時的に円高に振れるも113.48までの下落で留まった。その後、113.75まで買い戻されるも、ユーロのショートカバーでドル売られたことが重しとなり、再び113.48まで反落。早朝に小幅値を戻し、113.54レベルでNYオープン。朝方は米11月PPIが発表され、予想を上回った。発表直後に安値113.43を付けるも売りがすぐに一巡し、その後は買い戻しが優勢となり、海外時間高値(113.75)手前の113.74まで上昇。午後は113.60付近まで小幅反落後、再びじりじりと買い戻された。終盤に高値を113.76まで更新し、結局、113.75レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1280付近での方向感無い推移でスタートするが、欧州時間に入るとユーロショートカバーが先行し、1.1324まで上昇後、1.1310レベルでNYオープン。朝方は海外時間のユーロ買いが一巡し、じり安推移となる。その後、ロンドンフィクシングにかけて売りが加速し1.1270近辺まで下落。午後にも上値の重い推移が継続し、関係者の話として「ECBの経済見通しで23年と24年のインフレ率目標は2%を下回ると予測されている」と伝わったこともあいまって1.1254まで安値を更新。終盤は小幅値を戻し、1.1258レベルでクロス。NYクロス直前に「米上院、債務上限を2.5兆ドル引き上げ法案可決、下院に送付へ」とのヘッドラインは流れるも、市場の反応は限定的だった。

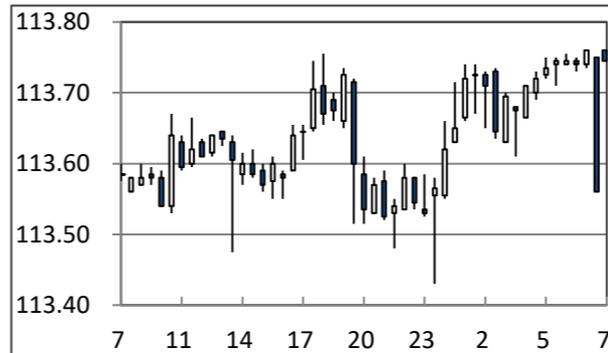
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月14日	09:30	豪 NAB企業景況感/企業信頼感	11月 12/12	-
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	10月 1.8%/-4.1%	-
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 1.1%	1.2%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.8%/9.6%	0.5%/9.2%

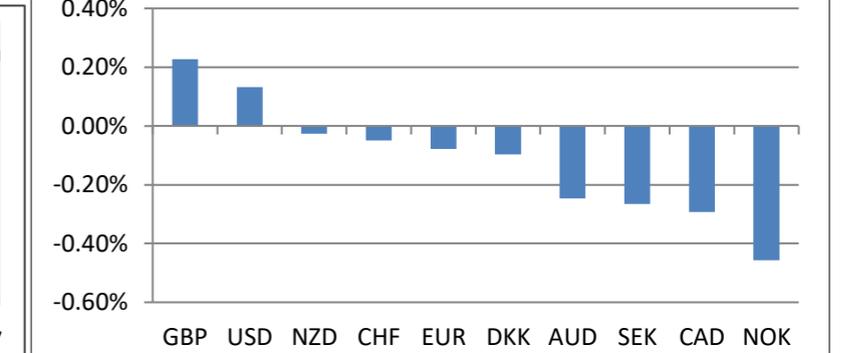
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月15日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	12月 -	105.3
	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	11月 4.7%/5.4%/3.7%	4.9%/6.1%/3.5%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.4%/4.8%	1.1%/4.2%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 25.0	30.9
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	11月 0.8%	1.7%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	11月 0.9%	1.7%
12月16日	04:00	米 FOMC 政策金利	15-Dec 0.00%-0.25%	0.00%-0.25%
	04:30	米パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.20	1.1200-1.1320	127.30-128.60

【マーケット・インプレッション】

昨夜発表された米11月PPIが予想比上振れたことでFRBがタカ派姿勢を維持するとの見方が強まった。ドル買い優勢となるとドル円は一時113.76まで上昇するも、FOMCの結果発表を前にその後小動きの展開となった。市場は本日発表されるFOMCでのテーパリングのペース加速、さらに2022年中の2回利上げについてすでに市場参加者は織り込まれている。予想以上のタカ派サプライズがない限りはFOMC後にドルは一時的に反落するリスクがあると予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。